



尾張家臣団

徳川林政史研究所
連携企画

Thematic Exhibition
in collaboration with the Tokugawa
Institute for the History of Forestry

The Owari
Tokugawa
Vassals

武芸・記録・編纂

— 尾張徳川家を支えた人びと —

開館時間 午前10時～午後5時(徳川美術館の入館は午後3時30分まで)
休館日 月曜日(但し、11/24(月・祝)は開館、翌11/25(火)は休館)
年末年始 (2025/12/15～2026/1/3)
観覧料 一般1,600円・高大生800円・小中生500円
※土曜日は高校生以下入館無料
【注意】同時開催「国宝 源氏物語絵巻」終了後の
12月9日(火)～12月14日(日)は観覧料が変わります。
詳しくは徳川美術館ホームページをご覧ください。
主催 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・徳川林政史研究所



2025 11.15 土 >>> 12.14 日



徳川美術館
THE TOKUGAWA ART MUSEUM



同時開催 —————
徳川美術館開館90周年記念
特別展 国宝 源氏物語絵巻
11.15～12.7

蓬左文庫
HOSA LIBRARY, CITY OF NAGOYA

尾張家臣団

尾張徳川家の家臣たちは、18〜19世紀の段階で約二万五千人に及んでいました。彼らのなかには、初代將軍徳川家康とのつながりから、尾張徳川家に属しながらも幕府の公的な仕事を請け負っていた者や、尾張藩が成立する前からの在地武士としての由緒を持つ者など、さまざまな出自・経歴を持った人びとによって構成されていました。また、武芸の腕をもつて出世した者や記録・地誌の編纂に携わった者など、尾張徳川家による支配のもと優れた技量を持った人びとも、江戸時代を通じて登場するようになります。本展示では、このようなさまざまな出自・経歴を持つ尾張家臣団を構成する人びとについて、歴史資料からその実像に迫ります。



南蛮胴具足(部分) 渡辺守綱所用 桃山時代 16世紀 個人蔵



士林派洞 江戸時代 19世紀



梨子地養亀文蒔絵鞍・鐙 室町時代 大永3年(1523) 犬山城白帝文庫蔵



唐物丸壺茶入 銘 唐丸壺
大名物 竹腰正信(竹腰家初代)所持
南宋〜元時代 13〜14世紀



尾張家臣双六 徳川慶蔵(尾張家13代)筆 江戸時代 19世紀



尾州・濃州御領分之図
江戸時代 元禄11年(1698) 徳川林政史研究所蔵

表面 上:三之丸之図 江戸時代 17世紀 下: 初公開 脇指 銘 米国光 鎌倉時代 14世紀 個人蔵

※表記のない作品は全て徳川美術館蔵

関連企画

※詳しくは当館ホームページをご確認ください。



令和7年度 江戸学講座「尾張家臣たちの実像」全4回

徳川美術館の姉妹研究機関である徳川林政史研究所の所員を講師に迎え、徳川林政史研究所が所蔵する特徴的な史料を分かりやすく紹介します。

- | | | | |
|-----------------|----|--------|-------|
| ① 尾張家臣団の概要 | 講師 | 所長 | 深井 雅海 |
| ② 尾張家重臣と將軍家 | 講師 | 研究員 | 萱場 真仁 |
| ③ 尾張家臣が残した記録を読む | 講師 | 研究員 | 萱田 寛也 |
| ④ 近代尾張旧藩士族の群像 | 講師 | マネージャー | 藤田 英昭 |

日時 ①12月13日(土)・②1月10日(土)・③1月24日(土)・④2月14日(土)
各日午後1時30分〜午後3時(開場:午後1時)
会場 徳川美術館 講堂
定員 90名(事前申込制/先着順/会員先行申込あり)
受講料 一般 3,200円(税込/入館料は別途必要)
受付 11月5日(水)午前10時受付開始
全4回通しでの申込のみ事前受付・1回のみ受講は当日会場にて受付

次回展覧会

2026年1月4日(日)〜2月1日(日)

企画展

日本の神々 降臨



日光東照宮祭礼図巻(部分)

徳川美術館メンバーシップ 会員募集中!!

詳しくはHPをご覧ください。

- 【アクセス】 ●基幹バス「徳川園新出来」下車徒歩3分
●メーグル「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車
●JR中央本線「大曽根駅」下車南口より徒歩10分